

災害用ドローン物流総合支援システムの開発

研究代表者：ブルーイノベーション株式会社 代表取締役社長 熊田貴之
研究期間：令和2年度～

1.本研究の背景と目的

<背景>

既存の災害時物流では、下記が原因で、安定した物資供給が行えないという課題が存在。

- 1.道路の寸断
- 2.被災による物資輸送事業者の不足

<目的>

ドローンの上空飛行による、災害時の安定した物資供給の実現を目指す。

- 1.道路が寸断していても、上空を飛行するため回避可能
- 2.自律飛行による必要人員の削減が可能

2.これまでの研究の流れ

ブルーイノベーションは前年度の成果物をもとに、毎年物流用ドローンポートとソフトウェアの開発を行っており、ドローン物流に関する知見を蓄えて参りました。

平成28～29年度

ドローンの離着陸の安全確保に係る研究と開発（交通運輸技術開発推進制度）



平成30年度

ドローン物流を補助する大型ドローンポートの開発（楽天等のドローン物流で実用化）



令和元年度

IHI運搬機械と共同で前年度のドローンポートの小型化、さらに実践的な機能の追加開発

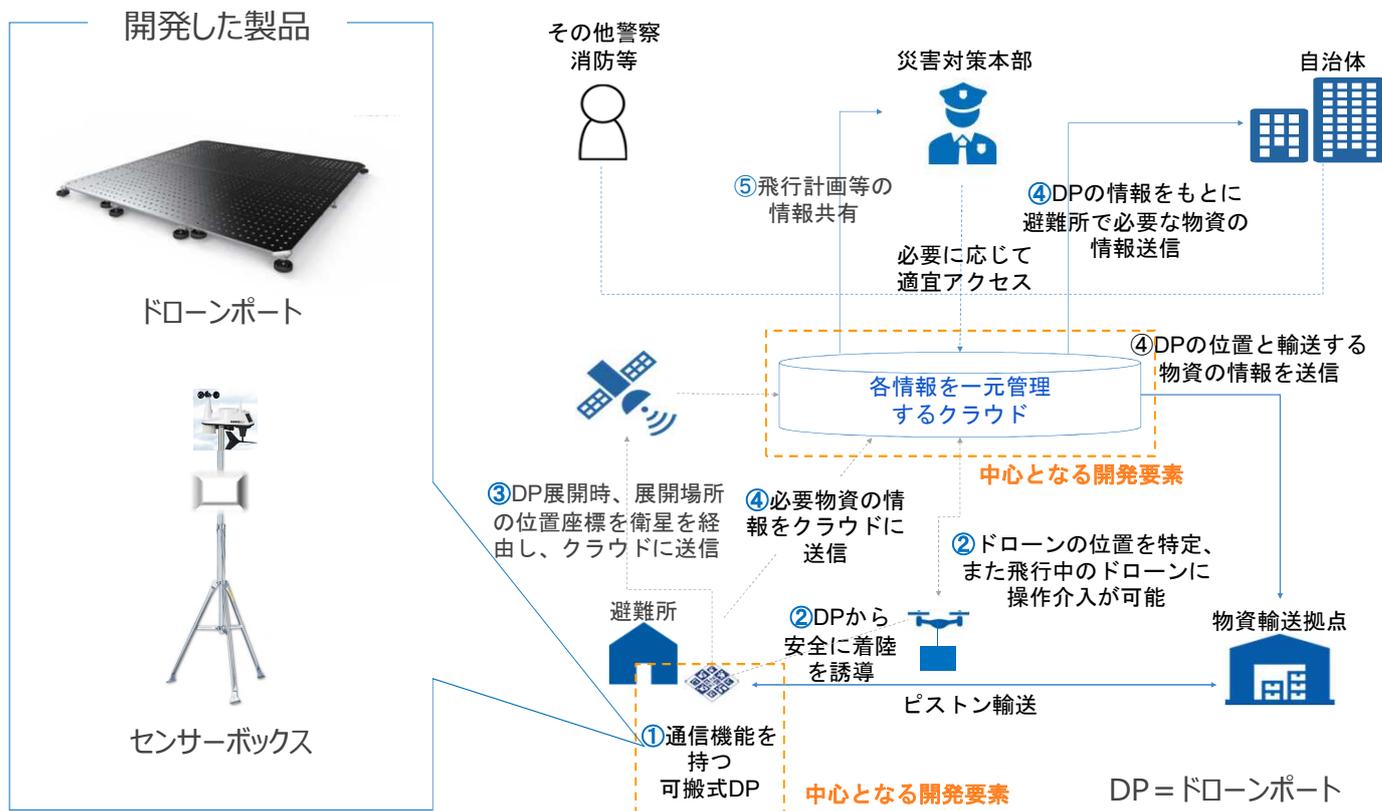


令和2～3年度

これまでの研究で得た知見や成果物を生かしてより実践的な研究を実施

3.本研究の概要

災害時の関係各所で必要な物資の情報を共有し、**ドローンによる安全かつ迅速な輸送を実現**するためのソフトウェアとハードウェアの両面の研究開発を実施します。



お問い合わせ先：droneport_jimukyoku@blue-i.co.jp